

STSフォーラム (Science and technology in Society forum)

実施機関：特定非営利活動法人 STSフォーラム（総括責任者：尾身 幸次）

実施期間：平成24年度

プロジェクトの概要

科学技術の発達が人類により大きな便益と福音をもたらすことが期待される一方で、人類と地球環境を脅かす存在にもなりうるとの認識のもと、世界各国の科学者、政治家、政策担当者、経済人、ジャーナリストが一堂に会して科学技術の“光と影”、科学技術と人類の未来に関して議論するフォーラムを開催することにより、人類の発展と調和した科学技術の適切な発達に寄与することを目的とする。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	成果	計画・手法の妥当性	実施期間終了後における取組の継続性・発展性
S	a	s	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

本フォーラムは、科学技術の“光と影”、科学技術と人類の未来に関して議論する国際会議として世界の関係者に広く認知されてきている。本フォーラムが9年間にわたって我が国で継続して開催され、産・学・政・官が参画する強固な国際政策対話の場が構築されていることには大きな意義があり、我が国のプレゼンス向上に貢献しているものと高く評価できる。今後、さらに安定して継続展開するための一層の基盤強化に向けた検討を期待する。

- ・ **目標達成度**：東日本大震災等や福島原発事故の後の復興や対応などに関連して、例年にも増して今回のフォーラムにおける討議意識が高まった中で、世界96ヶ国より約1000名の科学者や政界・財界人等のトップリーダーが一堂に会し、幅広い分野にわたり議論が行われ、さらに参加者と我が国政府要人とのサテライトでの会議なども多数開かれており、所期の目標を達成していると評価できる。

- ・ **成果**：本フォーラムは、我が国のリーダーシップのもとに継続して開催されることにより、科学技術について広く討議する国際的な政策対話の場として定着し、意義ある政策対話を誘導して、大きな成果につながりつつあることから、科学技術における国際的な政策対話の推進において、我が国のリーダーシップ発揮とプレゼンスの向上に対する貢献は大きく、優れた成果であると高く評価できる。

- ・ **計画・手法の妥当性**：時宜を得たテーマを含む新たな分科会や特別会合の設定などの工夫が凝らされるなど、国際的な政策対話の場の形成に向けて、意義の大きい大規模な国際フォーラムを継続して開催するその計画・手法は優れていると高く評価できる。

- ・ **実施期間終了後における取組の継続性・発展性**：本フォーラム終了後も、フォーラムでの議

論をもとに科学技術政策の提言を各国に発信する等の活動にも力を入れており、このような国際交流を継続する工夫は評価できる。今後も、本フォーラムの成果そしてさらなる発信に大きな期待が持たれていることから、長期にわたるその継続展開に向けて、さらなる工夫を凝らし、組織及び運営体制の一層の強化に向けた検討を期待する。